

Single-centre, cross-sectional study on the factors and reasons for non-vaccination among patients with rheumatoid arthritis

関節リウマチ患者におけるワクチン非接種の理由と関連因子：単施設での横断研究
三宅 啓史

2020 年 9 月時点で天理よろづ相談所病院に通院していた RA 患者 991 人を対象に、インフルエンザ、肺炎球菌（PPSV23、PCV13）、および水痘帯状疱疹（VVL または RZV）ワクチンの接種状況と、接種していない理由を調査しました。その結果、インフルエンザワクチンの接種率は 62%、PPSV23 は 46%、PCV13 は 14%、VVL は 2.9%であり、特に肺炎球菌および带状疱疹ワクチンの接種率が低いことが明らかになりました。

ワクチンを接種していない患者の多くは医師から接種を推奨されたことがなく、接種を勧められても実際に接種しなかった患者はごく少数でした。また、非接種の理由として、インフルエンザワクチンに対する効果への懸念、肺炎球菌ワクチン（PPSV23、PCV13）に対する安全性への懸念、水痘帯状疱疹ワクチン（VVL）に対する効果と安全性への懸念が主に挙げられました。

本研究の結果は、RA 患者に対するワクチン接種の推奨が十分に行われていない実態を示しており、医師による積極的なワクチン接種勧奨と、患者に対する効果や安全性に関する教育の重要性が示唆されました。

<https://doi.org/10.1093/mr/road003>



